

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 84 号	氏名	Shirendeb Ulziibat
学位審査委員	主査 田口 尚	副査 由井克之	副査 増崎英明
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 本研究は正常卵管と卵管妊娠における卵管上皮の intraepithelial lymphocyte (IEL) の分布動態と、エストロゲン受容体 (ERα, ERβ), プロゲステロン受容体 (PR), 細胞膜PR (mPR) の発現を検討し、IEL とステロイドホルモン受容体の関連を明らかにしようとしたものであり、研究の目的は妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 ヒト卵管41例 (各月経周期、閉経期及び卵管妊娠) を対象とし、免疫組織化学と in situ hybridization により各受容体の発現を検索し、更にレーザーマイクロダイセクションシステムを用いて採取した組織切片の RT-PCR 解析を行ったものであり、その研究手法は妥当である。</p> <p>3. 解析考察の評価 上記手法で解析し、正常及び妊娠卵管組織における IEL の動態ならびにその ER と PR 発現状態を明らかにした。CD8 陽性の IEL は ERβ と mPR を発現し、これらにより制御される可能性を示し、また、卵管妊娠において分泌細胞の ERα の消失が卵管での機能形成不全に関与していることが示唆された。多くの新知見を示したものであり、解析や考察も高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は卵管の機能発現や病態の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			